

基本目標 1 みんなで“支え合う” ～ほっこり暮らせるまちづくり～							令和 5 年度評価シート		
施策 4 障害者（児）福祉			令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	【該当計画書】 34～35ページ 【担当課】 福祉課	
		達成指標個数	5	0	0	0	0		
		達成度	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		施策指標数	8	8	8	8	8		
施策4-1	意識の高揚と活動支援	町民の障害者に対する意識の高揚やノーマライゼーションの普及啓発に努め、保健・医療・福祉の連携と地域住民の協力のもとに、地域の実状に即した障害者の地域生活支援の充実を図ります。						主 な 事 業	○障害への理解の浸透 町民の障害者に対する理解を深め、差別意識を解消するため、広報紙、ホームページ等を利用し普及啓発に努め、意識の向上を図りました。
		目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
民生委員を対象とした障害者に関する研修会の実施回数		年1回	年1回						
			達成						
施策4-2	自立支援と生きがいつくり	障害や困窮等、町民からどの相談機関に相談があっても、町全体で受け止め、問題解決に多方面から取り組めるよう、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施できる体制づくりを構築します。 障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」に向け、地域全体で支えるグループホームなど居住支援のための機能を扶桑町の実状に応じて整備し、障害者の生活を地域全体で支える仕組みの向上を図ります。						主 な 事 業	○重層的支援体制の構築 定期的な会議の開催により重層的支援体制の枠組みについて話し合いを行ったものの、不十分でありました。 ○地域生活支援拠点の整備・強化 自立支援地域協議会の生活部会を5回開催し、町内の支援者との連携を強化しました。防災訓練にも参加し、障害者の避難について意見等を出し合い、緊急時の体制について話し合いを行いました。
		目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
相談カルテ		作成	作成						
			達成						
自立支援地域協議会の定期的な開催		年 4 回	年10回						
			達成						
施策4-3	障害児への支援	障害児の療育の場である児童発達支援事業所において、障害の程度や発達の段階に応じた指導が受けられるよう専門性を高め、保育園等との連携を強化します。 障害の程度や成長に応じた切れ目のない障害児のケアを行うとともに、障害児の健やかな育成のために、相談支援専門員を配置し、支援者のスキルアップにつながる研修体制を構築します。						主 な 事 業	○自立支援地域協議会こども部会 子ども課、学校教育課、福祉課、民間の幼稚園、事業所等で、事例検討などを通じ、0歳～18歳までの障害、発達についての困り事について話し合いを行い、支援者同士の顔の見える関係づくりを図りました。 ○巡回相談支援専門員 支援チームを編成し、幼稚園、学校、民間の事業所等を訪問し、助言等を行いました。 ○医療的ケア児支援体制 医療的ケアが必要なこどもが地域で生活できるよう支援者を養成、支援機関の連携を図りました。
		目標値	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
つくし学園の職員研修の実施回数		年15回	年14回						
			未達成						
療育相談の実施回数		年10回	年10回						
			達成						
支援者の研修		実施	実施						
			達成						
基幹相談支援センター		設置	未設置						
			未達成						
相談支援専門員数		8人	6人						
			未達成						